



発行  
奥野田公民館

館長：廣瀬

FAX ☎ [REDACTED]

主事：中山

FAX [REDACTED]

## 新年おめでとー

「ございます

年頭にあたり 地域の  
皆様方のご健勝とご多幸を  
お祈り申し上げます。

令和三年は、前年十二月初めからの新型コロナウイルス感染症第三波の拡大の中で幕を開け、春先には一時下火となったものの、四月下旬からは第四波に見舞われ、八月から九月にかけての第五波では、国内の一日の新規感染者が二万五千人を超えた日も何日かありました。

世界の感染爆発が日本にも大きな影響を与えたように、国内の感染状況が県内の感染者数の増減にも影響してきました。

こうした状況の中で、奥野田公民館も一時閉館や利用の自粛をお願いしたり、感染防止対策の徹底を呼びかけたりしながら、地域での感染者の増加を防ぐための対策を取りつつ活動をして参りました。

九月半ばには、連日のように新規感染者数が「過去最多」と報じられました。感染対策の徹底やワクチン接種の増加などにより、十月上旬には第五波も収まり始めました。

このような状況下で、十一月の公民館祭りは、関連した「歩け歩け一万歩」などの共催事業は実施できなかったものの、前年同様展示中心で行うことが出来ました。公民館祭りについての詳細は、2・3ページをご覧ください。

## ウィズコロナの令和四年

新たな変異株「オミクロン」の国内上陸を食い止めるべく、水際対策を徹底している中で、新しい年を迎えました。「アフターコロナ」時代の到来はまだ当分先と思えますので、今は「ウィズコロナ」の社会で生活していく覚悟が必要だと思います。一人ひとりが感染防止に向けて最大限の留意を払っていくことが大事です。

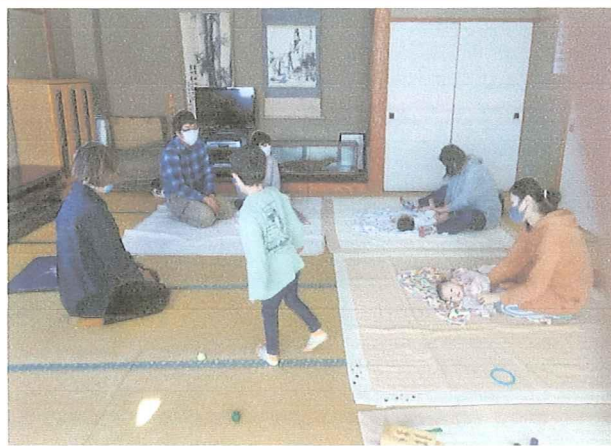
奥野田公民館としましても、利用者から感染者が現れないようにと、再三お願いしてきたところですが、慣れによる気の緩みがないように重ねてお願いする次第です。

マスクの着用、手洗い・うがいの励行、除菌の徹底、三密の回避、適切な換気、等々、出来ることを皆さんと共に行い、感染防止に努めながら、新年度の公民館活動を続けていきたいと思えます。

本年も皆様のご協力を  
宜しくお願い致します。

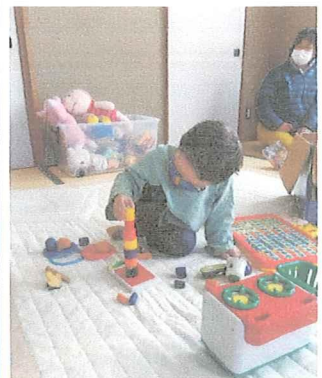
## 2階会議室(多目的ホール)の 会議机が一部新しくなりました

天板に穴が開いている会議机が二階に多くあったため、令和2年度から会議机の更新について、市の生涯学習課に要望をしましたが、今年度に10脚を更新することが出来ました。高額なため、限られた予算の中で、少しずつでも更新していただけるようお願いしてきました。利用者の皆様、大切に使ってください。



11月23日勤労感謝の日、熊野神社では新嘗祭が行われ、公民館では、ベビーマッサージを主体とした子育てサロンが開かれました。地区内外から4組13名が参加し、指導者の飯島さんにベビマの注意点を教えられ、実際にお子さんに行っていました。

## 子育てサロン



今年度も展示を主体として11月20日(土)、21日(日)の二日間開催しました。公民館での教室に参加している方々の作品を中心に展示しましたが、地域の文化祭としての要素もあることから、地域の皆さんの手作り作品も展示していただき、奥野田小学校児童の作品や保育園児の作品も展示し、奥野田公民館祭りに華を添えていただきました。



両日とも朝9:00に開場し、初日は午後4:00まで、二日目は片付けの関係で、午後3:00までの展示でしたが、出展者を中心に家族連れや友人連れなど、多くの方にご参観いただきました。ありがとうございました。

ただ、昨年度より少し来場者が減少したのが残念でした。

また、直前の18日・19日の準備や21日の片付けに、お手伝いいただいた皆様に感謝申し上げます。

奥野田公民館祭り開催

フラワーアレンジメント教室

公民館祭りを前に、11月17日(水)の午後、フラワーアレンジメント教室を開催しました。今年度のテーマも、日持ちの良い「トピアリー」でした。



トピアリーの製作風景

完成しました



広瀬千恵子先生に花の準備からご指導までをお願いし、当日は助手の方のお手伝いもあり、参加者は持参した鉢にオアシスを入れ、先生の用意してくれた花材に、各自が持参した花材を加えるなどして、「トピアリー」を仕上げていきました。

参加者は例年並みの人数でしたが、今後は新しい方の参加にも期待したいと思います。



公民館祭りの小学生と保育園児の作品展示の一部

### 公民館祭り(紙上ギャラリー)

今年度は昨年度以上に多くの作品を展示することが出来ました。  
紙面の都合で一部の紹介となります。



川柳教室の展示



クラフトバンド教室展示

カルトナーージュ教室の展示



水彩画教室の展示



フラワーアレンジメント教室展示



手作り作品の展示



鏡絵



押し花絵教室の展示



### 川柳教室

冬らしい陽気となった12月2日(木)の午後、しかし暖房も不要な日和の中で、公民館では12月の川柳教室を開催しました。参加者は講師の田口先生を含めて八名。

各自が持ち寄った句の撰を田口先生からいただいた後、『甲斐野』の巻頭言を元に、作句における日常の心がけなどについてご指導を受けました。

☆印は軸吟(講師作)

#### 題詠句 お題『耳』

#### 自由吟

- |                  |                 |                  |
|------------------|-----------------|------------------|
| ・パンの耳苦学支えた自負がある  | ・お節介ひと肌脱いで風邪をひき | 満治               |
| ・雪の降るかすかな音をひろう夜  | ・干し芋の為だけに雨気にかかる | 由季               |
| ・福耳の孫に明るい夢託す     | ・うなずいて笑顔で返す聞き上手 | 直美               |
| ・情報を耳目でとらえ生きる今   | ・二刀流昔は武蔵今翔平     | 清和               |
| ・テレビ見て重たく吊すイヤリング | ・小菊咲き道行く人の足を止め  | 仲子               |
| ・耳澄ませ夫の寝言聞いている   | ・コロナ禍も落ち着く頃に新種株 | 玲子               |
| ・福耳と皆に言われた若き頃    | ・除夜の鐘聞きつつ過ごし九七路 | 久孝               |
| ☆耳果報今宵卒寿の祝い膳     | ☆耳の奥寝ても覚めても蟬が鳴く | 裕人               |
| ・真実へ耳を凝らして闇の中    | 満治              | ・ひとの手の温もりに泣く冬の底  |
| ・耳ざわり良い言葉にはつい惹かれ | 清和              | ・オミクロン国際線は大打撃    |
| ・福耳のおえびす様が笑つてる   | 仲子              | ・落ち葉掃きはいてる後に又落ちる |
| ・補聴器を替えても妻の耳遠し   | 久孝              | ↑                |
| ・耳よりなお得話は気にかかる   | 直美              | ↓                |
| ・うちのネコ耳だけ向けて返事する | 由季              | ・夜とう虫作る人より味見先    |
| ・耳遠く不都合なこと聞こえない  | 玲子              | ・テレビから爆音響く親の家    |
| ☆耳組のい草残してごさを織り   | 裕人              | ・仏壇の水を毎日なめるネコ    |
|                  |                 | ・年ごとに健診結果に赤が増え   |
|                  |                 | ☆補聴器に眼鏡マスクと耳忙し   |

1月のお題は「爪」です

### 一月の予定

1月 5日(水)	19:00~	民謡梅の香
1月 6日(木)	13:30~	川柳教室
1月11日(火)	13:30~	フラサークルアロアロ
1月13日(木)	13:30~	いきいき健幸教室
1月13日(木)	19:00~	社協奥野田支部
1月18日(火)	9:00~	民生児童委員協議会
1月18日(火)	13:30~	押し花ローズ
1月19日(水)	19:00~	民謡梅の香
1月20日(木)	13:30~	水彩画教室
1月21日(金)	13:30~	クラフトバンド教室
1月25日(火)	9:30~	子育てサロン
1月25日(火)	13:30~	フラサークルアロアロ



※12月15日時点の予定